

「愛される学校」は凡事徹底から

先日、学校運営協議会が行われました。この会議は、緑岡地区の代表者の方々から緑岡小中の教育活動についてご意見をいただく場です。さらには、学校や地域の課題について話し合い、協力して解決する方向性を決める場でもあります。

この会議の中で、緑中生の挨拶のよさや緑岡小学校の南側の歩道で歩行者や自転車の譲り合いが見られるなど、緑中生のよさを認めていただいている意見がありました。

また、歯科検診をはじめとする健康診断では、「生徒の態度のよさを感じました」というお話を複数の医師の方からいただきました。

以前もお話しましたが、横断歩道で停車してくださった運転手さんに対して会釈をしたり小走りで横断したりと、相手のことを考えた誠意ある行動も多く見られます。

「凡事徹底」（当たり前のことを当たり前に行う）、特に相手を思いやる気持ちを込めた凡事徹底は、まさに「愛される学校」の土台です。

緑岡中学校の伝統をこれからも大切にしていきましょう。

緑岡地区の方々の誇り

【緑岡中学校となった理由】

昔、殿様が城下から景色を見た際に、千波湖の奥に木々に覆われた丘を見て、「緑の丘」と呼んだそうです。それが現在の緑岡地区です。緑岡は住所ではなく、その当時の地名となりました。そして、そこにある中学校を緑岡中学校としました。

【学校の行政順と緑岡中学校】

水戸市立の中学校には順番があります。この順番を行政順といい、学校の創立や市町村合併などが関係して決められています。

現在16校の市立学校は、水戸一中、水戸二中、水戸三中、緑岡中、水戸四中・・・という順番になっています。ここで、少し疑問が残ります。一中、二中、三中と来た場合、行政順では4番目にあたる緑岡中学校は本来四中になるはずですが、しかし、当時の地域の方々が緑岡という地名を学校に付けて欲しいという思いを市に伝え、そのことにより、四中ではなく緑岡中になったそうです。

この話を聞いただけでも、地域の方々がどれだけこの緑岡という地名に誇りをもち、大切に守り抜きたいと思っているかが伺えます。

皆さんの住む緑岡地区は地域の方々に愛され、誇りにされる地区です。そして、皆さんの通う緑岡中学校もまた、地域の方々の誇りであることはいまでもありません。